

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	理工学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 学位授与方針を2010年度中に明文化する。	→学位授与方針を明文化した文書。	C
2. 教育課程の編成・実施方針を2010年度中に明文化する。	→教育課程の編成・実施方針を明文化した文書。	C
3. 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の周知方法を2010年度中に検討し、2011年度より実施する。	→教育目標、学位授与方針、および教育課程の編成・実施方針の公表・周知状況。	B
4. 上記編成・実施方針の点検を定期的に行うよう学部カリキュラムWGの業務を明文化する。	→学部カリキュラムWGの業務を明確化した文書、および点検の実施状況。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.1.1	(方針) 学部の教育目標は設定済みで、学部としての学位授与方針は、全学の方針が策定されるのを待って明文化する方針である。 (現状説明) 学部の教育目標は既に明示も行っている。全学の学位授与方針が2009年度中に策定される計画であったが、これが遅れているため、学部としての学位授与方針の明文化にも遅れが出るが見込まれる。
☆ 小項目6.1.2	(現状説明) 教育課程の編成・実施方針は、学部の共有意識として存在しており、2010年度にその明文化を進める計画を立てた。しかし、これも全学の方針の策定の遅れに伴って、計画を修正する必要が生じるかもしれない。
☆ 小項目6.1.3	学部の理念、目的、教育目標については、1) ホームページによる公開、2) 「授業科目履修心得」への掲載と新入生教務ガイダンスによる学生への周知、3) 教授会(4月)での教員への周知を行っている。学位授与方針および教育課程の編成・実施方針についても、明文化が完了し次第、同様の措置をとることを学部カリキュラムWG(ワーキンググループ)および学部長室委員会で検討する計画である。
☆ 小項目6.1.4	学部カリキュラムWG(ワーキンググループ)で定期的に検討することを決定し、当該WGの業務として明文化した。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



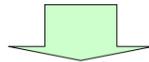
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.1.1	全学の方針策定が遅れているため、学部の方針策定にも遅延が生じる可能性がある。
小項目6.1.2	全学の方針策定が遅れているため、学部の方針策定にも遅延が生じる可能性がある。
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.1.1	学部での方針策定を全学と並行して進めるが、状況によっては計画の修正も検討する。
小項目6.1.2	学部での方針策定を全学と並行して進めるが、状況によっては計画の修正も検討する。
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】  
○「目標」「指標」「現状説明」とも明確で適切です。学位授与方針の明文化等については、早急な対応ができれば最善でしょうが、教育課程の編成・実施方針についてはこれまでの積み重ねで学部内の合意があるようですから、拙速よりも、時間をかけてよい結果を出すのが望ましいでしょう。

【学内委員】  
○目標の1. 2. とも全学の方針を定めることが遅れており、C評価であることはやむを得ないと思われまます。  
○教育課程の編成・実施方針を定期的に検討する学部カリキュラムWGを設置されたことは評価できます。  
○教育内容や学位授与方針、教育課程の編成などについて、学部内での検討は進んでおり、その点は評価できます。ただ、全学的な方針決定の遅れにより、最終的なものはまだ決定・明示されていません。全学の方針決定後、速やかに内容の再検討を行うことが求められます。

#### IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

#### V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.1.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.1.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.1.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.1.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの授業科目開設数
6.1.0.S5	必修・選択ごとの開設授業科目数
6.1.0.S6	系列別卒業必要単位数

<個別的な指標>
